

【対象者】 300字以上の世界史論述を課す大学の志望者

・東大、京大、一橋大、筑波大などの国公立大学の志望者

【目標】

難解な論述問題を通して、設問に対し正確に受け答える力や「世界史の全体像」を考察する力など、これらの論述を解く際に必要な思考力を養成する。

【講座内容】

本講座は、世界史の試験で論述を課す中でも難しい論述を出題する大学への対策の応用講座です。志望校への現役合格を勝ち取るため、上記の目標に基づいた方針で講座を行います。

基礎講座で学んだアプローチを用いれば一般的な論述問題は解けるようになりますが、正直なところそれだけでは、難関大レベル（「対象者」に挙げた大学）の論述問題が全て解けるようにはなりません。

難関大レベルの論述問題を解くためには、難解な設問に対して正確に受け答える能力や歴史の事象に因果関係や比較要素を発見する力が必要になるためです。また、指定語句どうしにつながりを与え、既習の知識を再構築する創造力も問われる場合があります。本講座では応用的な過去問をベースに演習・解説形式で問題にあたることを通して、こうした論述問題へのアプローチ方法を習得してもらいます。

ハードな講座とはなりますが、基礎講座と同じく、各受講生に対して個別指導を充実させ、今後の勉強法なども指導することをお約束します。

【注意点】

- 応用講座は、基礎講座を受講して得られる解法・知識、もしくはそれと同等の解法・知識を習得していることを前提とします。原則として基礎講座とセットで申し込む講座ですが、どうしても事情により応用講座のみを申し込もうと考えている生徒は、必ず世界史科講師に相談してください。
- 都立大は、今年度に400字論述が久々に出題されました。志願者は、基礎講座は履修するべきですが、応用講座を取るかどうかは、他科目の状況などを踏まえて決定して下さい。それ以外にも、基礎講座のみか基礎・応用両講座を受講するか悩んでいる場合は、申し込む前に世界史科講師に相談することを勧めます。
- その他の注意点については基礎講座と同じですので、そちらを参照してください。